

グローバルな資産運用会社としての成功要因

デイビッド・A・ハント

目次

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. はじめに | 5. 独自のマルチマネジャー・モデル |
| 2. 運用会社のコアはプロフェッショナル・パートナーシップ | 6. 資産運用市場を再構築する5つの構造的トレンド |
| 3. 顧客のための運用パフォーマンス創出 | 7. 今日の市場における勝者と苦戦する運用会社 |
| 4. 運用会社における成功の礎は人材とカルチャー | 8. 質疑応答 |

1. はじめに

世界最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャル・インクの資産運用ビジネスの中核を担うPGIMインク（以下、PGIM）は、もともとは保険会社の一部門だったが、15年にわたる変遷を経てグローバルで効率的な資産運用会社に進化した。私が紹介するのはいわばケーススタディーであり、大きな金融機関の一部門がいかにして効率的な運用会社に変容したかである。当社がコアビジネスを拡大していった過程は、皆さまの参考になることも多いと思う。

2. 運用会社のコアはプロフェッショナル・パートナーシップ

運用戦略やマーケティング等も重要であるが、私が考えるに運用会社にとって最も重要なものは人材とカルチャー（企業文化）である。人材とカルチャーがしっかりしていれば、運用戦略は確実に実行される。しかし、適切な人材を得られずカルチャーに問題があれば、運用戦略を着実に実行できないだろう。

そして、本日はお話ししたいことは、驚くほどシンプルであるが極めて複雑なことである。それは、



デイビッド・A・ハント (David A. Hunt)

PGIMインク（旧プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・インク）社長、最高経営責任者（CEO）。プリンストン大学でエンジニアリング学位取得、ペンシルベニア大学ウォートン・スクールでファイナンス及び多国籍企業経営のMBA取得。プルデンシャル入社以前は、マッキンゼー社のシニア・パートナーならびに北米アセットマネジメント部門の共同責任者を務め、日本をはじめ、アジア、欧州、中東を含むグローバルベースでの経営戦略や運用、プロダクト、人事戦略などの幅広いアドバイザー業務に従事。外交問題評議会の終身メンバー。